

議員が町政を問う

一般質問

質問には会派代表で行うものと、個人質問があります。各記事は質問をした議員本人が作成しています。

[3月4日・5日]

13人の議員が質問

次回の議会は…



令和7年 第2回定例会(予定)

- 5/22(木) 請願・陳情提出期限
- 6/ 3(火) 9:00 開会
- 5(木) 9:00 一般質問1日目
- 6(金) 9:00 一般質問2日目
- 13(金) 9:00 議案に対する質疑
- 17(火) 9:00 文教厚生委員会
- 14:00 総務企画委員会
- 18(水) 9:00 建設経済委員会
- 24(火) 14:00 閉会

※予定は変更する場合があります。詳しくはホームページをご確認ください。



テレビで議会を
観てみませんか?

一般質問の様子がテレビで放送されます。
6/14(土)・21(土) 9時～
CCNCケーブルテレビにて放送予定!



傍聴を
できます!

どなたでも傍聴可能です。
2階の議場の入り口にて受付をしております。
お気軽にお越しください。



傍聴のご案内

手話通訳者・要約筆記者の申請方法も掲載しております。

《答弁部署の略号》

- 総 総務部
- 企 企画部
- 福 健康福祉部
- 経 生活経済部
- 建 建設部
- 教 教育部

Q 新年度予算編成の特徴は

A ダイナミズム(力強さ)

総 ①「武豊町DX推進計画」を策定する。また、新たに生成AIの利用や町民会館においてキャッシュレス決済システムを導入する。②コミュニティバスの利便性の向上につなげる住民ワーク

Q 「会派きずな」の予算措置要望の反映状況は。

A 町長 子どもからお年寄りまで幅広く施策効果が感じられる事業展開と、将来負担と健全財政のバランスに留意した。特徴は、土地利用など大きく構図が変わる可能性を見据えた予算編成とした。

Q 予算編成における留意点、特徴は。

A 町長 今後の武豊町の発展と町民の皆様の幸せを切に願い、すべての町民に「住み続けたいまち」と思っていただけのような町政を願う。

Q 今後の町政に託す思いは。

シヨップを実施する。③大規模災害に備え、避難所となる武中に11基のマンホールトイレを整備する。④児童クラブの充実を図るため、民間児童クラブの施設整備費や運営費に対し補助する。⑤ニーズに合った介護事業とするため、高齢者を対象とした「健康とくらしの調査」を実施する。⑥国民健康保険の特定検診および後期高齢者の健康診査対象者に、人間ドック費用の一部を助成する。など。



令和7年度当初予算の概要と「会派きずな要望」の予算反映について確認する。

いしかわ よし
きずな 石川 喜次

Q 地震等防災対策の現状は

A 地域、町県国の連携プレーで

過去に起きた巨大地震の被害を参考にした、早めの減災対策が最優先。

く の い さ お
みらい 久野 勇



南海トラフ地震の発生確率が30年以内に80%に引き上げられ、この地域でも巨大地震の発生による被害が懸念される。震度7を想定した場合、人的被害は建物倒壊で約400人、他100人等。建物被害は倒壊約6000棟、他1320棟を、予想している。現状では防災リーダーの養成、心肺蘇生法の講習、防災訓練、避難訓練、資機材の点検など実施しているが自助、共助、公助が最も必要である。

Q 医療関係の連携は。

A 総 県に対し必要に応じて災害派遣医療チームの派遣要請を行う。医療従事者については知多郡医師会、武豊町医師団の協力を得て確保。県は必要に応じ厚生労働省に要請。

Q 避難所におけるトイレの対応は。

A 総 避難者数4500人を

想定し備蓄トイレを90基、便袋も7日分を準備予定。マンホールトイレも準備予定。

Q 妊婦や授乳期の女性等に対し居場所の確保は。

A 総 プライベートの確保が可能な屋内用テントを配備。

Q 個別避難計画の作成は。

A 総 防災交通課、福祉課で進める。区への加入、非開示の方への対応にも努める。



▲武豊小 避難所運営訓練

Q 新たな補助制度への対応は

A 県の助成制度は検討する

住民の安心安全のために、耐震改修のための、速やかに新たな制度設計が求められる。

い し か わ
政和クラブ 石川 よしはる



Q 県が創設する「精密診断法」を用いた補強設計費に補助する制度に、どのように対応していくのか。

A 町長 県の状況や、県内の他自治体の状況について調査をし、耐震化の促進に繋がる効果的な制度なのかどうか研究した上で、対応について判断する。

Q アンケートで、耐震改修や建て替えをしない理由は、費用が捻出できないと答えられた方が47%でトップである。県の制度は、費用を安くするという方針なのに、研究するといのはおかしいと考えるが見解は。

A 建 他のまちとの状況も勘案しながら検討する。

Q 国は、昨今の資材価格や人件費の上昇で、工事費用が高騰しているため、住宅の耐震化に対する費用補助を100万円から115万円に引き上げた。本町ではどのよ

うに対応されるのか。

A 建 現在の補助額の水準は、低いものと考えておらず、現時点での引き上げについては、考えてない。

Q 一般財源は減額ということになり、住民から見れば耐震化に対して後向きだと思われるが、見解は。

A 建 本町としては、そのような認識はしていない。



▲能登半島地震の被災地

Q 高齢者タクシー助成制度を!

A 現行の制度で実施していく

Q コミュニティバス事業と接続タクシー事業についての評価はありますか。

A (総) コミュニティバス事業は、お年寄りなど住民が安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足を確保することを目指し、平成22年7月に運行を開始した。令和5年度の利用者は、3倍近くの88256人となった。接続タクシー事業は、令和4年度に自宅から最寄りのバス停まで利用範囲を拡大したが、利用者の増加には至っていない。

Q シニアカーの購入補助に関して検討はされましたか。

A (福) 「生活支援部会」「ライフサポートたけとよ」において検討した。シニアカーの必要な方については、現行の介護保険制度(要介護2以上)のレンタルが利用できるため、購入するよりも、制度を利用していただく方がよい。今後とも制度の周知と買い物支援などの充実には努めていく。

Q 高齢者タクシー助成事業を、本町でも導入してはどうでしょうか。

A (福) 今年度より障がい者等タクシー料金助成事業の対象者を拡大し、要介護3以上の人を対象にタクシー料金の基本料金を助成している。併せて、買い物支援ワーカーングループでの検討もしている。



Q 町民や次期町長に伝えたい事

A 新たな武豊町を創って欲しい

Q 20年間の町政運営で、大きな成果を得られた施策は何か伺う。

A (帳) 一つ目は、衣浦港3号地廃棄物最終処分場事業、この貢献事業で、知多東部線のJ-A富貴支店までの南進・商工会の入る地域交流施設・資源回収エコステーションなどの整備を実施。二つ目は、ゆめくりんと屋内温泉プールの建設、ゆめくりんの余熱を活用した屋内温水プールは、年間約12万人が利用し、さらに町内全小学校の水泳授業も行っている。三つ目は、野菜茶業研究所跡地取得、現在は中央公園と半田消防署武豊支署が併用開始され、今後は公共機能集積エリアとして役場を含め、住民が集うことのできる場所となる。

5期20年間の初山芳輝町長の行政運営は、今後の武豊町にとって貴重な財産。

みらい 福本 貴久



Q 町民の意見を政策に反映するための取り組みは。

A (帳) 一つ目は、町長談話室、町民とコミュニケーションを

取ることで、町政に反映をした。二つ目は、ふるさと巡回点検、各区に足を運び生の声を聞いた。三つ目は、町長への提案・町政への意見、約2700件提出され、早期に解決できるよう進めた。

Q 町民や次期町長に伝えたいことがあるらば伺う。

A (帳) 今後も町民と行政が、同じ目標に向かって、ともに力を合わせ、未来の新たな武豊町を創っていただきたいと願っている。



▲初山町長と周年事業のPR

Q 手話言語条例について考えは

A 近隣市町の状況を見て進める

手話言語の普及促進のためにも一日も早い本町の手話言語条例の制定を希望します。



公明党議員団 鳥居 美和

Q 聴覚に障がいがある方が災害時に緊急通報するには、どのようにすればいいですか。

A 福 Net119緊急通報システムと「電話リレーサービス」があります。「電話リレーサービス」は、聴覚や発話に困難のある人と、きこえる人との会話を通訳オペレーターが「手話」や「文字」などに通訳することにより、電話で即時双方向につながるサービスです。

Q 「電話リレーサービス」を広報紙で周知する考えはありますか。

A 福 今後、町ホームページ、メールサービス、LINEや広報紙を利用して周知を進めてまいります。

Q 手話言語条例について、どのようにお考えですか。

A 帳 本町においても手話は「二つの言語」として考えて

いる。記念式典などにおいて手話通訳の配置を行い、障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の確保に努めている。本町に定めはないが、平成28年に愛知県が「手話言語の普及および障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を制定している。本町における手話言語条例の制定は近隣市町の状況を見ながら一歩ずつ前に進めて参りたいと考えている。



Q ごみ集積所でカラス被害対策

A ごみ出しに関するルール遵守

ごみ集積所へカラスが都度飛来し、ごみ袋を漁り生ごみなどを啄み廻りを汚している状況。



まつもと 松本 万之 ぎずな

Q 町内の各地で発生しているごみ集積所の被害等での苦情や相談件数は。

A 経 環境課に寄せられた、ごみ集積所におけるカラス等の動物が関与したと思われる被害の通報や苦情相談件数は令和4年度は31件、令和5年度は49件、令和6年度は52件。

Q 散乱被害に遭わないようにするために、「ゴミ出しルール」や効果検証は如何に。

A 経 散乱防止の原因と考えられる、ごみ収集日の前日より出す「早出し禁止」ごみ袋がカラス対策用ネットからはみだすことのないよう正しく掛けていただくなどの啓発用のチラシを作成し集積所に掲示。更に環境課の不法投棄パトロール員による巡回を行って効果の確認をしている。

Q 集積所でごみ袋を直置き

にする箇所は被害に遭う確率が高いので、ボックスタイプや蓋付き収納タイプへの変更予定はあるか。

A 経 過去には金属製の枠や箱状集積箱を設置していたが、場所によっては常時ごみが出される状況もあったため、住民の意見を受け、金属製の枠や箱を撤去した経緯がある。



▲カラスによる散乱被害

Q 公園施設再編計画の目的は

A より楽しめる身近な公園を

A 建 今後調査研究していく。

Q 愛知県の森と緑づくり事業は自治体の事業も対象となるため、武豊町独自の施策にも活用してはどうか。

A 町長 適正な施設配置、公園機能の再編、維持管理方針の見直しを行うため、公園の立地や規模、利用状況、周辺環境などの分析に加え、アンケート調査も実施して、維持管理費を抑えつつ、町民がより楽しめる身近な公園を増やすことを目指す。



▲補修が待たれる熊野池ウッドデッキ

Q 公園は憩いや賑わいの場にとどまらず、災害時の避難場所や地域コミュニティの活動拠点など、地域住民にとって重要な役割であるが、今回策定される公園再編計画の目的や概要は。

A 建 実施設計業務の結果、ウッドデッキ基礎部分の老朽化が激しく多額の費用を要することが判明したため、整備スケジュールを再検討する期間を頂きたい。

Q 熊野池公園のウッドデッキや熊野池西側の公園整備計画が令和6年度以降の実施計画から削除されたが、いつ頃整備開始となるか。

町内公園の老朽化施設や遊具は速やかに整備が必要。

いしはら じゅうろう
きずな 石原 壽朗



Q 住民税非課税世帯の給付は

A 3月下旬から順次進める

A 教 多くの食材の価格が軒並み上昇。物価高騰分を町

Q 賄材料費の高騰で、学校、保育園給食への影響は。

A 福 枠を拡大して給付するには、個別システム改修費を含む諸費用と人件費がかかる。

Q 低所得世帯支援枠を、住民税非課税世帯だけでなく、均等割のみ課税者まで拡大しての給付はできなかったのか。

A 企 生活者支援、事業者支援としての8つのメニューから、本町においては、交付金6714万円のうち約3000万円を学校給食費高騰分に充当した。なお、残額については来年度に繰り越し、給食費を含め活用メニューを検討する。

Q 国の補正予算に計上された地域の実情に応じた重点支援地方交付金の使途は。

が負担し子育て世帯の負担軽減に努めてきた。令和7年度も10円ずつ上乘せして小学校でも一食あたり50円、中学校で60円の公費負担を見込んでいる。保護者の負担額を変えることなく、公費負担を継続する。

福 米、卵、野菜などの高騰分を家庭の負担とならないよう町が負担。管理栄養士が献立の工夫などを行い、現時点では物価高騰分を保護者負担にする予定はない。

物価高騰の波は、2人以上家庭のエンゲル係数を28.3%と押し上げている。

もとむら つよし
本村 強



▲給食材料

Q 検査調書のチェックリストは

A 検討して何か形にしていく

ミスを隠すのではなく、リカバリーと再発防止策を早く示すことが重要!

さくらい まさみ
みらい 櫻井 雅美



令和3年策定の「第3次武豊町生涯学習基本構想」はパブリックコメント制度の1か月を守らず3週間、協議会は設置を忘れ、2月に委嘱。コンサルティング会社への仕様書に提出書類とされていた会議録も協議書もない。第2次には記載されていた「推進協議会設置要綱」と「策定事務経過」は3次では削除されていた。再発防止策の提示を求めていたが、計画一覧の作成に応じたのみで、対応がされないため、一般質問に踏み切った。

さらに、今年度策定の「第2次武豊町子ども読書活動推進計画」は、第1次の実施期間が平成19〜23年、13年計画を立て忘れていた。

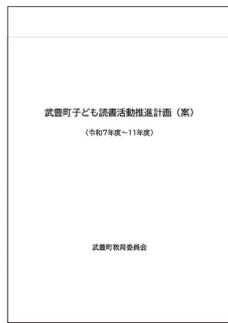
また、パブリックコメントにおいては、閲覧期間開始後にホームページに掲載されていないことが、何度も見受けられている。

Q ミスが起きた場合に、どこがフォローし、リカバリーするのか。

A ① 企画 チェック機能については、今後組織として考えていかなければいけない。

Q 計画策定に詳しくない職員に向けてチェックリストの作成をしてはどうか。

A ② ③ 今あるマニュアルをリニューアルして、わかりやすくしていきたい。



組織としてリカバリーし、再発防止に努めてほしい。

Q 保険税引き上げ分は

A 基金取り崩しにより負担軽減

現在でも高いといわれている国保料が引き上げられます。低所得者に大きな負担です。

かじた すずむ
梶田 進



国民健康保険税(国保税)の引き上げが行われ、これまで2年ごとの見直しを、今後は毎年見直しをする。

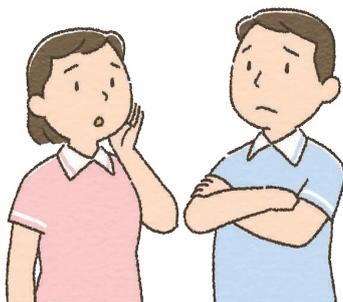
今回の改定は町民への負担を少なく見せかけるもので、姑息で不謹慎である。

Q 今回の改定で、税率改正の目的が達成できるのか。

A ④ ⑤ 国保税の急激な伸びを抑えるため、国保会計の財政調整基金約6000万円を取り崩し、被保険者の負担を軽減しつつ、適切な国保運営ができるものと考えます。

Q 被用者への適用拡大、団塊世代が後期高齢者医療へ移行したことにより、被保険者が減少したのは、国が承知したうえで、法改正している。国に対して応分の負担を求めるべきではないか。

A ⑥ ⑦ 担当課長会議等でも、その議論はされており、国・県に対して、助成するよう話をしている。



Q 以前、行っていた、一般会計からの「その他繰入れ」を行い、被保険者負担の軽減を図るべきだ。

A ⑧ ⑨ 国保税と法で定められた国や県からの交付金等と町からの繰入金で運営することとされており、国・県の運営方針にも「法定外の繰入」は行わないとなっている。国・県と共により「法定外の繰入」は考えていない。

Q 今後の町政の課題は

A 人口減少、少子高齢化など

稲山町長、20年間の町政運営、本当にお疲れ様でした。多くの課題に向き合いながら、町民の皆さまのために力を尽くされてきたことに、改



▲出生数が大きく減少

Q 今後の町政における主な課題は。

A 町長 1点目は人口減少と少子高齢化の進行。新たな工業用地の確保を進めていくことが必要。2点目はゼロカーボンシティの実現。再生エネルギーの導入拡大を進める。3点目は防災対策。地域コミュニティの醸成が重要であり、公助の限界がある。

とば ひさし



積極投資できるこの10年間で武豊町を変える最後のチャンス!

めて敬意を表します。私はここ数年、駅でのあいさつ運動や地域活動をする中で「最近、武豊町の元気がない」「駅前の空き地が増えてさびしい」「駅が無人化になって不便」という声を聞くことが増えました。今の武豊町を見ていると私はどうしても思ってしまうのです。「もったいない」と。武豊町には深刻な課題も山積みですが、まだまだできることがあります。JERR Aリプレースにより固定資産税は約30億円増えました。しかし、この増収は15年で消える償却資産です。

積極投資できるこの10年間で、武豊町の政策とお金の使い方を変える「最後のチャンス」です。

Q 中学生防災リーダーの協力は

A 協力体制の構築に努める

多方面に活躍できるドローンの導入など新技術の活用を積極的に進めてほしい。

たにがわ けんいちろう
きずな 谷川 健一郎



Q 被災後、仮設住宅などの治安低下について対策は。

A 建 施錠や近所にあいさつなど意識の向上を促していく。

Q 仮設住宅における豪雨等の二重被災への備えは。

A 建 県と協議をしながら建設予定地の選定を行う。

Q 中学生で防災リーダーの資格を取得した方との協力体制は。

A 総 協力体制は築けていない。今後防災訓練等、ホームページやLINEなどで周知していく。

Q 自主防災会などの高齢化についての対策は。

A 総 いろいろな機会をとらえて、次につながるような声掛けを行う。

Q 災害現場等で活躍するドローンの所有状況は。

A 総 近隣市町では、東浦町が所有している。その他に、知多中部消防本部にて2台所有を確認している。

Q 仮設住宅の巡回監視、防災イベント、建築や農業でも活用できるドローンの導入は時流に合っているか。

A 町長 時流に合っていると思う。中学生に見てもらい、防災意識を向上させるなど、おもしろい視点だと感じた。

